

じゅしゅう

春季彼岸会 厳修

三月二十日、彼岸の中日に春の彼岸会をお勤めさせていただきました。ご講師は枚方より朝山大俊先生。三年ぶりにお取り次ぎをいただきました。ご讚題は親鸞聖人御消息より「真信心の行人は、撰取不捨のゆゑに正定聚の位に住す。このゆゑに臨終まつことなし。来迎たのむことなし。信心の定まるとき往生また定まるなり。」でした。

さて、お彼岸というのはやがて参らせていただくお浄土のこと。浄土真宗の仏事の心は、亡くなつていかれた方々とはもう会えませんが、お浄土に私も参らせていただいで、またお会いさせていただきます。

だきますと味わいます。通常宗教というものは願いを持ちます。こうなりたいという私の願いを叶えてもらうよう頼むのです。けれども浄土真宗は逆で、阿弥陀さまが私を願つてくださいます。あなたにお念仏をさせよう、そして必ずお浄土へ迎え取つて、仏とならそうと願われているのです。さらには、願ひだけにとどまらず、既に願ひは成就し、私を往生させる力となつて働かれています。



浄土真宗ですからお念仏を申します。私の口から出ているお念仏は、自分の力で声にしていると思つてしまいます。けれど親鸞聖人は、私がお念仏をする身に阿弥陀さまが育ててくださったのだと受け取られます。例えば、自分が母親のことをお母さんと呼ぶようになったのは記憶にもない幼き頃に、自分が呼ぶよりも先に私を腕の中に包み、お母さんだよと呼び続けてくれたからこそ、気が付けばそのように呼ぶようになっていたので、私を思う親の願ひやほたらきが私を育てていくのです。お念仏が出るのは願ひが届いている証拠でした。

一昨年より始まつた当山の雅楽教室ですが、今年度も無事に終わりました。一年間の締めくくりに、三管そろつての合奏のお稽古があり、皆さん存分に実力を発揮することができました。雅楽教室は毎月第四火曜日の夜を基本として開催し、ゆつくりと楽しく日本の伝統音楽である雅楽を練習しています。募集のご案内です。「笙」という楽器を吹いてみたいと思ひの方は、ぜひご連絡をお待ちしております。



浄覚寺 雅楽教室

- 浄覚寺ヨガ教室**
 - ・4月15日(水)
 - 10時~11時半
 - ・参加費500円
- 浄覚寺雅楽教室**
 - ・4月28日(火)
 - 19時~20時半
 - ・参加費1000円
- 浄覚寺ピアノ教室**
 - ・4月 金曜日開催
 - (月3回)

弥陀の誓願は

無明長夜の

おほきなる

ともしびなり

親鸞聖人『尊号真像銘文』



御文章に聞く(第77回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

当流勸化章 (五帖第二十二通)

そもそも、当流勸化のおもむきをくわしくしりて・極楽に往生せんとおもわんひととは、まず、他力の信心と、他力の信心というは・なにの要ぞといえ、かかるあさましきわれらごときの凡夫の身が・たやすく浄土へまいるべき用意なり、その他力の信心のすがたというは・いかなることぞといえ、なにのようもなく・ただひとすじに・阿弥陀如来を一心一向にたのみたてまつりて、たすけたまえとおもうころの・一念おこるとき、かならず弥陀如来の・撰取の光明を放ちて、その身の娑婆にあらんほどは・この光明のなかに撰めおきましますなり、これすなわち・われらが往生の定まりたるすがたなり、

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。今月から新しい章に移りたいと思います。当流勸化章です。まずは大意からです。浄土真宗の教えを詳しく知って、極楽に往生しようと思ふ人びとは、何よりも、他力の信心のいわれを正しく知るべきであります。なぜ他力の信心が必要かといえ、私たちのように罪深い凡夫が、たやすく浄土へ往生させていたくするためには、欠かすことのできない用意であるからです。では、その他力の信心とは、どのようなことかと申しますと、いかなる自力も役立てようと思わず、ひと筋に、阿弥陀如来の本願の仰せにおまかせをすることです。このように「仰せのままにおたすけください」と、おまかせする心が起こつたとき、阿弥陀仏は必ず撰取の光明を放ちて、その人が娑婆世界にいるあいだ中、その光明に撰め取って、決して捨てられることがないのです。ですから、この光明に撰め取られるということからは、私たちの往生が、まちがいに定まっています。私たちがあらわしているといえるのです。

仏教語辞典



駕籠

人が座るところを一本の木で吊し、人力で運ぶ乗り物。古いお寺の本堂に入つて見上げてみると、まだ駕籠が柱にかけられて保管されているところもある。かつて住職は葬儀や法事があると、駕籠に乗って檀家さんのお宅に向かったという。

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

編集後記

今月も「じゅこう」をお届けいたします。三月は彼岸と共に卒業の季節です。役目から小学校の卒業式で祝辞を述べさせていただきました。式典の最後には卒業生の保護者代表が謝辞を述べられていました。六年前の入学式はコロナ禍で六月に延期されました。とてつもない制約の中でも、できることを精一杯してきた子どもたちは、これからどんなことも乗り越えていけると信じています。また、大人になることは大変なことですが、辛いこともたくさんあります。私も投げ出したいことばかりです。けれどそんな時には家族や友だちを頼ってください。必ず支えます。それでも難しい時には立ち止まって休憩しても大丈夫です。ゆっくりと大人になってくださいとメッセージを送っておられました。(釋法道)

浄覚寺の公式LINEにぜひ登録ください。
デジタル「じゅこう」をお届けします。



5月

五月十日(日) 十二時より
久宝寺御坊願証寺 蓮如忌法要参拝

行事案内

日時・四月十八日(土) 十四時・十九日(日) 十四時のみ
行事・報恩講法要 / 場所・長原浄覚寺
講師・中西昌弘先生(大阪)

浄土真宗を開いてくださった親鸞聖人に御礼を申す法要です。年間を通じて一番大切にしている縁ですので、ぜひともご参拝いただき、一緒に聴聞いたしましょう。

(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)